

1. 科目名 (単位数)	聴覚障害者の言語障害指導 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP3458 SNMP3458 SCMP3458 SBMP3458						
2. 授業担当教員									
4. 授業形態	講義・演習・ディスカッション	5. 開講学期							
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>言語の獲得には聴覚の機能が大きく作用する。聴覚の障害があると言語能力の獲得に問題が生ずるのである。言語習得の過程では、聴覚障害を補う補助手段を導入して言語理解・言語表出を支援していくことが必要である。言語理解のためには補聴器などによる聴覚補償のほか、他の感覚経路を利用した口話や手話などの手段を用いる。言語表出のためには発話練習や機器を利用した発語訓練などが行われている。音声言語を媒体にしたコミュニケーションだけではなく、文字など視覚的な情報を有効に利用してコミュニケーション能力を高めていく指導が必要である。生活年齢や発達段階に応じたコミュニケーション支援に向けた取り組み（同時法、口話法、聴覚口話法、キュードスピーチ、トータルコミュニケーション、バイリンガルアプローチ、指文字、手話の使用など）についても検討していく。語彙の獲得・文能力の増進・他者との交流能力の促進も視野に入れるとともに、家庭・学校における対応にも配慮が必要である。このような観点について、乳幼児期・学齢期・青年期/成人期・熟年期それぞれの時期の言語指導について学ぶ。</p>								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 聴覚の機能および聴覚の発達に伴う言語発達について知る。 2) 聴覚の障害に伴って生じる言語の障害について、基礎的から発展的に学習する。 3) 聴覚障害の補償について学ぶ。 4) 聴覚障害乳児、幼児、学童、青年、成人に対する支援の実情を学ぶ。 5) コミュニケーションが重要となる聴覚障害者の社会生活について理解する。 								
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	適宜、ワークシートによる課題及び小テスト、レポート課題を実施します。								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 宍戸和成・古川勝也・徳永豊 監修『特別支援教育のエッセンス 聴覚障害児教育の基本と実践』慶應義塾大学出版会 2023</p> <p>【参考書】 我妻敏博著 『改訂版聴覚障害児の言語指導～実践のための基礎知識』 田研出版、2016。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 聴覚障害者の病理・心理・発達特性について、基礎的知識を身に付けたか。 2. 聴覚障害者への適切な教育について基礎的知識を身に付けたか。 3. 主体的な発言・取組をし、協調性を発揮して授業に参加できたか <p>○評定の方法</p> <p>以下を総合的に検討し、判断する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の 50%</td> </tr> <tr> <td>2 レポート</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> <tr> <td>3 期末試験</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> </table> <p>*なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。</p>			1 授業への積極的参加	総合点の 50%	2 レポート	総合点の 20%	3 期末試験	総合点の 30%
1 授業への積極的参加	総合点の 50%								
2 レポート	総合点の 20%								
3 期末試験	総合点の 30%								
12. 受講生へのメッセージ	特別支援教育を取り巻く状況が刻々と変化の中で、聴覚障害のある子どもの指導についての確かな専門性を身に付けることが求められています。基礎・基本をしっかりと学んでいきましょう。								
13. オフィスアワー									
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	聴覚障害教育の歴史と現状① オリエンテーションと動向	事前学習	教科書「第1章」(pp. 1-8) を熟読しておく。						
		事後学習	聴覚障害教育を学ぶ意義について考える。本時の授業のポイントや用語についてノートに整理する。						
第2回	聴覚障害教育の歴史と現状② 聾教育の歴史から学ぶ	事前学習	教科書「第1章」(pp. 8-19) を熟読しておく。						
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。						
第3回	聴覚障害がある子どもの特性と理解① 聞こえの仕組みと子どもへの対応	事前学習	教科書「第2章」(pp. 21-33) を熟読しておく。						
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。						
第4回	聴覚障害がある子どもの特性と理解② 聴覚障害児の心理	事前学習	教科書「第2章」(pp. 34-39) を熟読しておく。						
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。						
第5回	早期教育相談と幼稚部の指導	事前学習	教科書「第3章」(pp. 41-56) を熟読しておく。						
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。						
第6回	小学部・中学部の指導	事前学習	教科書「第4章」(pp. 57-74) を熟読してお						

			く。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第7回	高等部の指導と卒業後の支援	事前学習	教科書「第5章」(pp.75-88)を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第8回	自立活動の指導	事前学習	教科書「第6章」(pp.89-107)を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第9回	教材・教具の活用	事前学習	教科書「第7章」(pp.109-126)を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第10回	コミュニケーション方法① 基本的な考え方、支援方法の特徴	事前学習	教科書「第8章」(pp.127-136)を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第11回	コミュニケーション方法② コミュニケーション方法の活用	事前学習	教科書「第8章」(pp.138-142)を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第12回	難聴の子どもへの指導① 難聴の理解と「きこえの教室」	事前学習	教科書「第9章」(pp.143-150)を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第13回	難聴の子どもへの指導② 通常学級との連携、保護者支援	事前学習	教科書「第9章」(pp.150-159)を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第14回	関係機関との連携協力	事前学習	教科書「第10章」(pp.161-177)を熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。わからないことは教員に質問する。
第15回	まとめと課題	事前学習	事前に配布された資料について熟読しておく。
		事後学習	授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。期末試験に向けて準備をする。
期末試験			